

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立桃陽小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	天王寺
学 校 名	大阪市立桃陽小学校
学 校 長 名	山西 直樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立桃陽小学校では、第6学年 65名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立桃陽小学校の結果概要

令和8年度において、国語科では全国平均より6.1ポイント、大阪市平均より8ポイント、算数科では全国平均より8.6ポイント、大阪市平均より9ポイント上回っている。それぞれの学習指導要領における領域においても、すべて全国・大阪市平均を上回っている。無回答率も国語科・算数科において全国・大阪市平均より低く、本校児童の学力はある程度高い水準で定着していることがうかがえる。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

すべての領域において、全国平均・大阪市平均を上回っている。特に「読むこと」においては、全国平均・大阪市平均より9ポイント以上高く、学校司書と連携した様々な読書活動の成果だと考える。

【算数】

すべての領域において、全国平均・大阪市平均を上回っている。特に「データの活用」においては、全国平均・大阪市平均より13ポイントも高く、社会科や総合的な学習の時間での資料の読み取りやデータ作成など、算数科で学んだことを他教科に活かしたことで、学びを深めることにつながったと考える。

質問調査より

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」の質問に対して、『30分以上・1時間以上・2時間以上』を選択回答した児童の割合が44.8%で、全国平均の26.1%を大きく上回っている。また、『全くしない』と回答した児童の割合が11.9%で、全国平均の26.3%より少ない。学校司書と連携した日々の読書活動（本の読み聞かせ、味見読書、ミニビブリオバトルなど）が、読書好きを増やしている要因と考えられる。

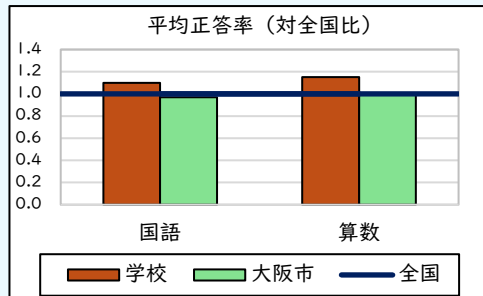
今後の取組（アクションプラン）

家庭の協力もあり、規則正しい生活をする児童が多く、落ち着いた学習環境で、意欲的に学ぶ児童が多く、ある程度高い学力の水準で定着している。また、学校司書と連携した読書活動によって、読書好きの児童が多くいることも高い学力水準につながっていると考える。児童質問紙「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な回答をした児童が83.6%で、全国平均を上回っているが、大阪市平均を少し下回っている。道徳の学習を中心に、日々の学校生活の中で「いじめ」について考える機会を大切に、「いじめ」への意識が高まるよう教職員一丸となって取り組んでいく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

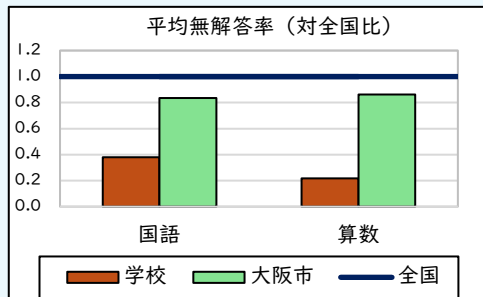
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	67	65
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



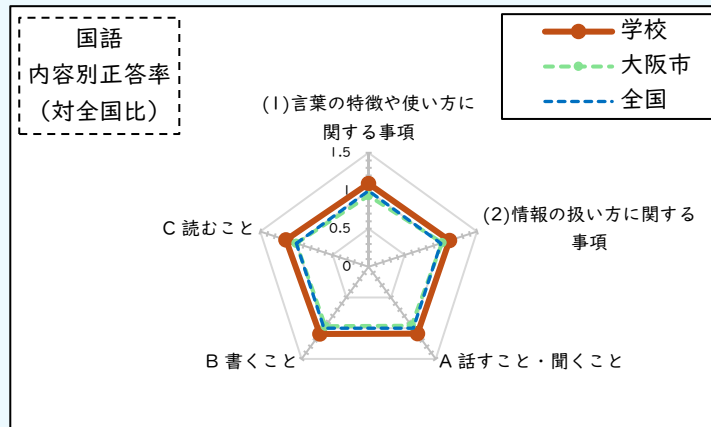
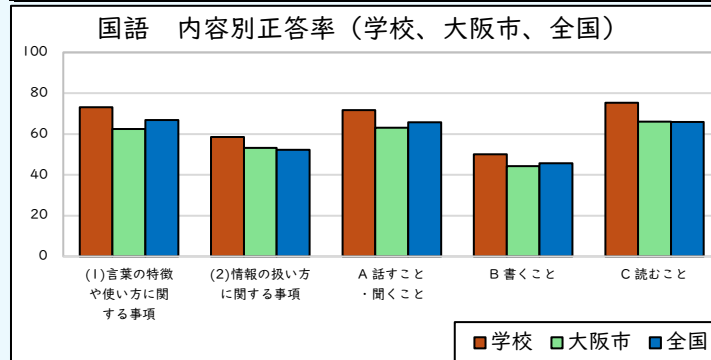
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.3	0.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



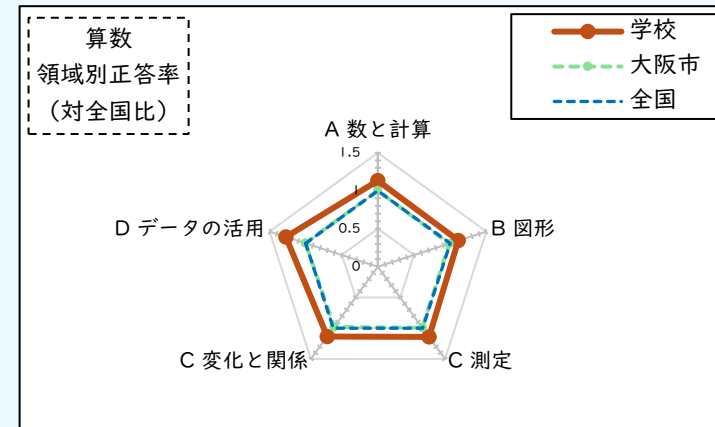
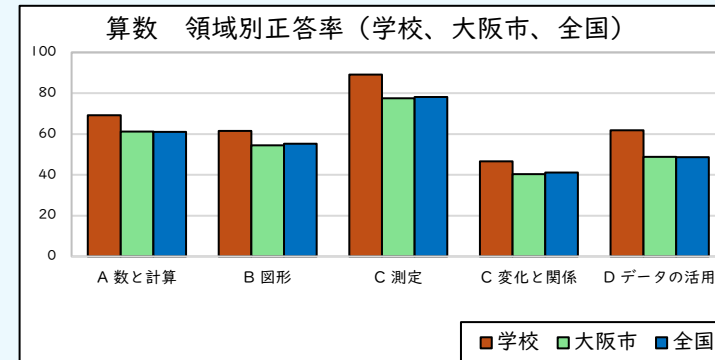
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数(問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	73.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	58.5	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	71.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	50.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	75.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数(問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	69.2	61.2	61.1
B 図形	4	61.5	54.5	55.3
C 測定	1	89.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	46.7	40.3	41.1
D データの活用	4	61.9	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

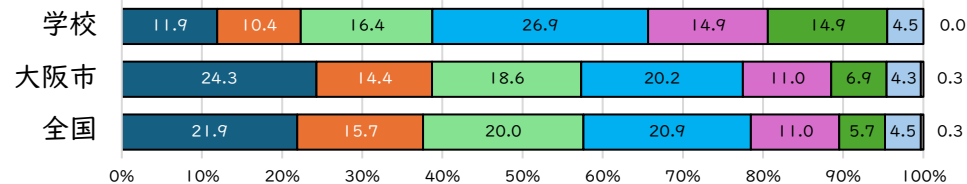
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(4)

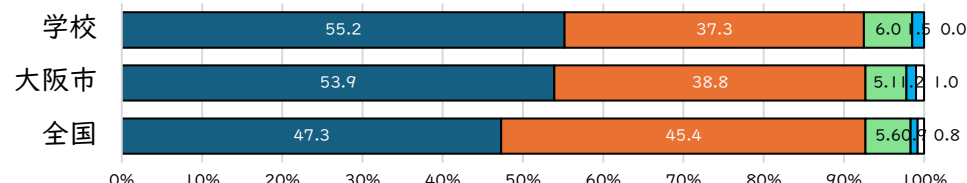
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 30分以上、1時間より少ない
- 6 30分より少ない
- 7 スマートフォン等を持っていない

(11)

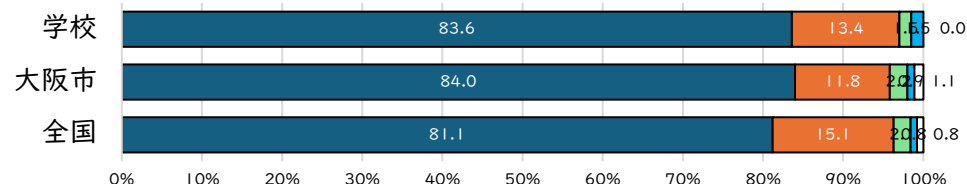
人が困っているときは、進んで助けていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(26)

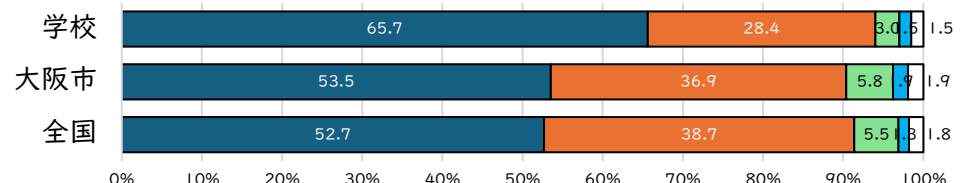
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

(46)

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

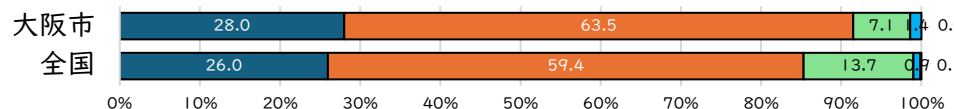
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(9)

調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

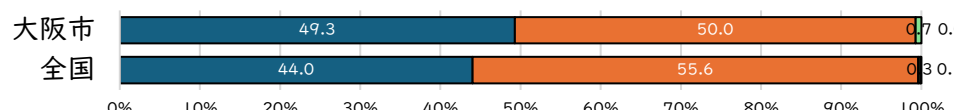


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

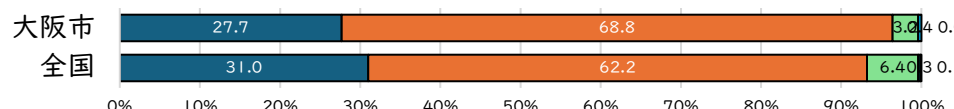


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

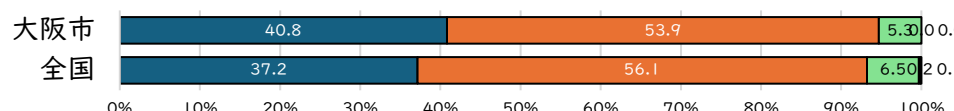


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 1 当てはまる

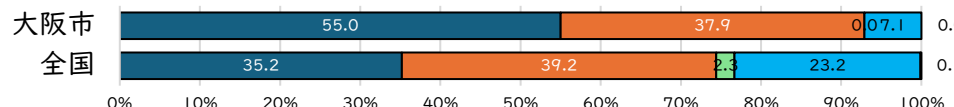


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(74-1)

学校では、調査対象学年の児童のうち、発達障害を含む障害のある児童に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（1）人的支援の配慮

【学校の回答】 1 十分に行った



1 十分に行った
2 一部行った
3 全く行わなかった
4 該当する児童がいなかった